

環境分科委員会のプロジェクト

黄砂を対象とした広域的モニタリング体制の構築（富山県）

1 目的

近年、北東アジア地域における黄砂などの越境大気汚染問題が顕在化しているが、その解決のためには、まずは統一的な手法により環境を広域的に把握することが重要であると考えられる。

本プロジェクトでは、国内外の経済界・学界・自治体がネットワークを構築し、黄砂の実態や影響を把握するためのモニタリング（視程調査）を継続して実施するとともに、その結果を今後の効果的な対策の決定・実施に繋げていくことを目的とする。

2 事業内容

(1) 実施期間 2008年4月～2009年3月（調査は毎年3月～5月の黄砂飛来時期に行う。）

(2) 実施場所 日本、中国、韓国、ロシア、モンゴルの希望企業、学校、学術機関、自治体等

(3) 実施方法

ア 調査主体

参加自治体が企業、学校等の協力を得て実施（参加者の確保、調査方法の指導）

イ 調査方法

・視程調査…参加自治体や学校、企業等が連携して実施

肉眼による目標物の視程観測（参加自治体から学校、企業等への調査方法等の指導）

調査地点（屋上などの高い場所）から周囲を見渡して、目印となる目標物（煙突や建物など）を数地点決め、調査地点からの距離を調べておく。

毎日決まった時間に目標物を肉眼で探し、どのくらい遠くの目標物が見えるかを確認する。

・モニタリング結果を基にしたデータ解析（学界と連携した黄砂の挙動解析）

ウ 調査結果

・各自治体が参加者の観測結果を回収し、富山県に提出

・富山県は結果を取りまとめ、報告書を作成（インターネットでも公開）

(4) 参加自治体（2009年2月13日現在）

5カ国11自治体で実施

- ・日本（3）：山形県、富山県、鳥取県
- ・中国（2）：遼寧省、吉林省
- ・韓国（2）：江原道、忠清南道
- ・ロシア（2）：沿海地方、ハバロフスク地方
- ・モンゴル（2）：ドルノゴビ県、中央県

(5) 年間計画

- 2008 年 4 月～10 月 : 調査マニュアルの作成
5 月 : 富山県内の小学校、企業及び行政機関において、試行調査を実施
10 月～ 2 月 : 現地指導の実施、ホームページの検討・作成
2009 年 3 月～ 5 月 : 調査実施（黄砂飛来期間）

(6) その他

ア 年次計画

20 年度～22 年度の 3 カ年

イ 期待される成果

参加者間の相互理解や情報交換が促進されるとともに、各地域の現状や課題について認識を共有化でき、今後の施策に効果的に活用できる。



視程調査の様子（小学校）